



複数の HX クラスタの設定

- [複数のクラスタの設定 \(1 ページ\)](#)

複数のクラスタの設定

複数の HyperFlex クラスタを同じ UCS ドメイン (ファブリック インターコネクトのペア) の下に共存させることができます。次のガイドラインに従い、ドメインに接続されているすべての機器に対して、スムーズに運用できるようにする必要があります。



- (注) 2つの異なる HX バージョンの HX クラスタを同じ UCSM ドメインで使用する構成は、必要なサーバファームウェアバンドルが UCSM インフラストラクチャリリースでサポートされている限りサポートされます。HXDP バージョンは、リリース ノートごとに UCSM サーバファームウェアバンドルにマッピングされます。UCSM インフラストラクチャのバージョンには依存しません。

推奨事項

- 標準 HXDP ライセンスを使用する場合、コンピューティング専用ノードの数は、コンバージドノードの数以下にする必要があります。エンタープライズ HXDP ライセンスでは、コンバージドノードに対して、最大 2:1 比のコンピューティングを使用できます。
- 新しい HyperFlex クラスタを作成するには、第 2 章に示されている要件をすべて満たしていることを確認してください。また、第 4 章に示されているプロセスに従ってください。
- 展開については、HX Data Platform インストーラを使用します。
- HX クラスタのすべてのノードは、同じポリシーとサービスプロファイルを参照する必要があります。
- 各 HX クラスタの一意的な名前を割り当てます。
- 各 HX クラスタは、インストールの一部として固有のサブ組織に作成されます。この階層は、固有のポリシーがクラスタごとに作成されるようにするため、変更しないでください。

- 各クラスタは、固有のストレージデータ VLAN を使用して、すべてのストレージトラフィックを分離しておく必要があります。複数のクラスタにわたってこの VLAN を再利用することは推奨されません。
- VLAN (管理およびゲスト トラフィック VLAN など) を再利用する場合は、UCSM にすでに存在していても、VLAN ごとに新しい固有の VLAN 名を作成します。これにより、そのドメイン内の他のクラスタやサーバが中断されることはなくなります。
- 互換性のある Cisco UCS Manager と Cisco HyperFlex バージョンを選択していることを確認します。

最新の互換性マトリックスについては、『[Release Notes for Cisco HX Data Platform](#)』のソフトウェアバージョンの表を参照してください。

- 同じ Cisco HX データ プラットフォーム インストーラを使用して別の vCenter に 2 番目のクラスタを設定する前に、ブラウザのキャッシュをクリアしてください。これにより、古いクラスタの IP アドレスがキャッシュされ展開が失敗するなどの問題が回避されます。



(注) トラフィックに応じて、さらにアップリンク ポートを追加する必要がある場合があります。



(注) ファブリック インターコネクトの同じペアに接続されている複数のクラスタ間で、同じ VLAN を使用することができます (管理、vMotion、VM ゲスト VLAN など)。これは、IP が重複しない限り可能です。ただし、ストレージトラフィックが安全に分離されるように、クラスタごとに HX ストレージ VLAN を異なる状態に保つことを推奨します。ベストプラクティスに対してストレージ VLAN を再利用する場合は、IP の重複を避けるために細心の注意をしてください。重複 IP があると、別のクラスタの既存のストレージトラフィックが中断される可能性があります。

手順

ステップ 1 HX Data Platform インストーラにログインします。

ステップ 2 標準クラスタの [Create Cluster] ワークフローに従って、追加のクラスタを作成します。詳細については、[Cisco HyperFlex Systems の設定](#)を参照してください。